

教授 中嶋 理香

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例		<p>学生の生活している「現在」と「子どもの育つ環境」を関係づけるように「社会」の動きに関する視聴覚教材を積極的に用いた。NHKやその他のTV番組、新聞記事等をこまめに収集し、学生に見せた。</p> <p>学外講師として、あいち小児保健医療総合センターの臨床心理士、AJUで障害者の支援を実施しているワーカーから話を聴く機会を設けた。</p>
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		<p>学生アンケートは、資料の提示時間が短いことや講義環境に対する意見が寄せられている。この点に関して、パワーポイント1枚に入れる情報量の一つとし、紙媒体の資料を多く次年度は取り入れる予定である。</p>

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
	2016. 6	北名古屋市からの依頼事業：家庭的保育養成講座・講師 教職員を対象とした免許更新講座の講師
	2016. 8	愛知県現任保育士を対象とした乳幼児保育講習会講師
	2016. 4～2017. 3	附属 クリエ幼稚園のコンサルテーション業務を実施
	2016. 4～2017. 3	杏嶺会 発達支援センター あおむし主催「尾張地区ST勉強会」講師
	2016. 3	京都北総合支援学校 高等部 研究部会 講師

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
「特別支援学校高等部における発達と社会経験を加味したアセスメントシートの利用とキャリア支援に向けた取り組み」	共著 (筆頭)	2016. 8. 26 ～27	第51回日本発達障害学会 (京都教育大学)	特別支援学校高等部生徒を対象にした発達水準、社会経験と進路先の関連性を検討した。その結果、7歳水準の発達水準にあると、社会経験が拡がり、就労移行支援を行っている事業所へ進むことができることが分かった。